

Gifted × Japan

才能が育つ社会へ、 学校からの挑戦



才能のある児童生徒は年齢や地域を問わず存在します。しかし、その稀有な輝きゆえに、既存の教育の枠組みの中では十分に能力を発揮できず、困難を抱える子どもたちがいるのも現実です。国も新たな一歩を踏み出しました。文部科学省が始動した「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」は、日本の教育における静かな変革の幕開けです。次期学習指導要領改訂に向けた議論も始まりました。

愛媛大学は本年4月、教育学部の附属施設として、日本初の才能教育センター (Centre for Gifted Education and Talent Development) を設置しました。本イベント「Gifted×Japan」は、その設立を記念し、国内外の研究者・実践者・政策関係者が一堂に会し、学校・家庭・社会が連動して才能を育む未来を構想する試みです。レジェンド研究者による講演、海外の実態や最新動向の紹介、文部科学省による政策的展望、さらに現場教員や教育委員会関係者による討議や体験的ワークショップを通して、特異な才能のある児童生徒を包摂する教育の方向性と実践の在り方を多角的に探ります。

日時 2025年**10月25日(土)** 9:30~17:15

場所 愛媛大学教育学部附属小学校 多目的講義室

参加費 1,000円(当日受付にて集金させていただきます)

問い合わせ先 contact@eu-gate.jp

参加申込
はこちら



Gifted × Japan 才能が育つ社会へ、学校からの挑戦

プログラム

開会式 9:30~10:00

1 レジェンドトーク【オンライン録画】 10:00~10:30

『IQ』を超えて ~学校の内外、そしてその枠を超えて児童生徒の才能を育む~

レナ・スポトニック (University of California, Berkeley)

2 才能教育最前線 10:30~12:00

【1】韓国で才能教育はどのように発展してきたのか? ~その光と影に迫る~

石川 裕之 (京都女子大学教授)

【2】タスマニアの中学校・高等学校に通う才能児の学校生活と経験

ジャクリン・ハードマン (ニューサウスウェールズ大学大学院)

※日本語での発表予定

——— 昼 食 12:00~13:00 (各自でご用意ください) ———

3 特別講演 13:00~13:55

特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の充実に向けて
~次期学習指導要領に向けた検討状況~

文部科学省 初等中等教育局 教育課程企画室長 栗山 和大
指定討論 関西大学名誉教授 松村 暢隆

4 シンポジウム 14:00~15:30

学校の学びを広げ、多様化する

~特異な才能のある児童生徒が自分らしく生きるために~

司会 愛媛大学教育学部教授・附属才能教育センター長 隅田 学

パネリスト 愛媛大学教育学部附属小学校教諭 水口 達也・玉井 淳博・幸島 恭輔
中村学園大学講師 新井しのぶ
長野県教育委員会指導主事 五味 和高

コメンテーター 松山市立素鷺小学校教諭 大塚 翔
京都府教育委員会総括指導主事 菊井 雅志

5 ワークショップ ※参加費:別途1,000円(要事前申込)《各回上限30名》 15:45~17:15

【1】「Differentiation that Works: Supporting Gifted Children in Inclusive Setting」

講師:レチミー・デーヴィー・ボンヌサーミー

(National Institute of Education, Nanyang Technological University) ※日本語訳付

【2】「特異な才能のある児童生徒向けの特別教育プログラムを考えてみよう!

~愛媛大学におけるジュニアドクター育成塾/STELLAプログラムの経験から~

講師:向 平和 (愛媛大学教育学部教授・科学教育研究センター長)

【3】「才能のある児童生徒への支援について学校の先生に知ってほしいこと」

講師:エルツキ・ラッシラ (神戸大学人間発達環境学研究科助教)

6 ネットワーキング 17:30~19:00

※参加費:別途1,000円(要事前申込・軽食代込・アルコールの提供はありません)